

青い湖面に白い帆ずらり 琵琶湖で「SAILおおつ」

琵琶湖でヨットレースを楽しむ「第12回SAILおおつ」(京都新聞社主催)が29日、大津市の柳が崎沖で開かれ、湖上の風を力にして進むヨットの白い帆が青い水面を彩った。

大会は、1973年から始まった「ビワコ・カインド・レガッタ」を継承し、大津市の市制100周年を記念して1998年から開催。さまざまな種類のヨットが参加できるのが特徴で、今年は滋賀県や京都府から72艇105人が参加した。レースは沖合に浮かぶ3カ所のブイを回る約8キロのコースで、一般と小学3年～中学3年のオプチミスト(OP)に分かれて行われた。参加者は風を読みながら巧みに帆や船体の傾きを操り、タイムや順位を競った。

一般の部は、いずれも宇治市の小寺孝典さん(24)と上村駿さん(24)のペア、OPの部は草津第二小6年の村山航大君(11)がそれぞれ優勝した。

【2010年08月29日 23時25分】



レース開始の合図で一斉にスタートするヨット(29日午前11時、大津市柳が崎沖の琵琶湖)

Copyright (c) 1996-2010 The Kyoto Shimbun Co.,Ltd. All rights reserved.

各ページの記事・写真は転用を禁じます。著作権は京都新聞社ならびに一部共同通信社に帰属します
[ネットワーク上の著作権について](#) [新聞・通信社が発信する情報をご利用の皆様へ](#)(日本新聞協会)
[電子メディアおよび関連事業における個人情報の取り扱いについて](#)
記事に対するご意見、ご感想はkpdesk@mb.kyoto-np.co.jp